

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	救命救急センターにおける自己抜去インシデント症例の特徴分析に基づくアセスメントスコアシートの評価項目の検討
研究責任者（所属名）	山下 達矢（4 西病棟）
本研究の目的	当院では、自己抜去リスクアセスメントスコアシートを用いて、入院時、退室時および転出時にリスク評価を実施しています。しかしながら、自己抜去インシデントは依然として発生している現状があります。このことから、自己抜去に至った患者の特徴を明らかにし、評価項目改善に向けた課題を明らかにする必要があるのではないかと考えました。本研究では、救命救急センターにおいて発生した自己抜去インシデント症例を対象として、患者背景、意識状態、装着デバイス、身体拘束の有無、薬剤使用状況、発生時間帯、自己抜去されたデバイスの種類などを整理します。さらに、各症例について当院の自己抜去リスクアセスメントスコアシートの該当項目を確認し、現行の評価項目で捉えられている特徴と、十分に反映されていない可能性のある要因を検討します。以上より、救命救急センターにおける自己抜去インシデント症例の特徴を明らかにするとともに、現行の自己抜去リスクアセスメントスコアシートとの対応状況を整理し、自己抜去リスク評価項目の見直しに向けた示唆を得ることを目的とし今回の研究に取り組みます。
調査データの該当期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで
研究の方法 （使用する試料等）	対象症例について、電子カルテ、インシデントレポート、および自己抜去リスクアセスメントスコアシートを用いてデータ収集を行う予定です。収集項目は以下の項目となります。 ・電子カルテより 患者背景（年齢、性別、主病名、既往歴、入室日数、入室理由）、意識レベル（GCS）、不穏・興奮の有無、せん妄、不十分な鎮静（RASSスケール）、認知症自立度判定、薬剤使用状況（鎮静薬、向精神薬）、デバイスの種類および装着数、身体拘束の有無 ・アセスメントスコアシートより インシデント発生患者のアセスメントス

	コアシートにおける総得点、アセスメントスコアシートの各評価項目」 ・インシデントレポートより 発生時間帯（深夜・日勤・準夜）、抜去したデバイス」
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	